

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 江 頭 敬
論文審査委員	主 査 稲 井 哲一朗 印
	副 査 松 崎 英津子 印
	副 査 日 高 真 純 印
論 文 題 目	AMPKの活性化はオートファジーを介してチタンディスク上の骨芽細胞分化を促進する (AMPK activation enhances osteoblast differentiation on a titanium disc via autophagy)
(論文審査結果の要旨)	
<p>インプラント治療においては、インプラントを構成するチタンと骨が結合し、一体化するオッセオインテグレーションが重要とされている。本研究では前骨芽細胞株をインプラント体に相当するチタンディスク上で培養し、添加した因子により細胞分化が起こることを分化マーカーに対する qPCR やウエスタンブロットで確認した。その結果、アディポネクチン受容体を介して AMPK 活性化、オートファジー亢進、細胞分化が起こることを示した。糖尿病患者ではアディポネクチンの血清濃度が低下していることが知られている。また、糖尿病患者では、オッセオインテグレーションが不良となることがあり、これにはアディポネクチンの血清濃度の低下が関与している可能性がある。本学位申請論文は、アディポネクチン投与で糖尿病患者のオッセオインテグレーションを改善できる可能性を提示している点で有意義と言える。</p> <p>公開予備審査会ならびに追加の審査において、研究の背景、目的、方法、結果および考察に関して明確な説明と質疑に対する適切な回答がなされた。以上により、本申請論文は学位論文として適格であると評価された。</p>	